

## 1年間を振り返ろう

……現実からスタートしよう

## 現実からスタートしよう

文化祭、体育祭、スキー研修旅行と、学校行事を終え、みなさんの洛北高校での1年間も終わりました。こうやって終わってみると、この1年間あっという間だったと思います。1日1日、1時間1時間、その瞬間瞬間を大切に過ごすことがいかに大事かを分かってください。そういった日々の蓄積が、みなさんの血となり肉となります。1ヶ月後には新学年での新学期がスタートします。学習面でも生活面でもいろいろと戸惑い、悩むことが多々あると思います。そんな時は、この1年間の出来事を思い出してください。必ずその中に、今ある困難を乗り越えるヒントがあります。春休みには、この1年間にあった様々なことを思い出し、その時自分はどう感じ、どのように行動したかを整理してみることをお勧めします。

## 3年生は今

3月1日に卒業式が終わり、3年生は卒業していきました。しかし卒業後も、私大の3月入試、国公立の中・後期入試とつづき、自分で納得がいく志望校に進めるように、最後の最後まで気持ちを切らさずに受験に挑んでいる3年生も多くいます。現在、前期の国公立大学の合格結果が寄せられたところですが、この後も、最後まで粘った人たちの結果が続々と届くことでしょう。その結果を見て、みなさんはすごくあこがれたり、少しでも近づきたいと思ったりすることでしょう。それはそれでいいです。ただ、合格結果のみにあこがれるだけでなく、**最後まで粘るといふその姿勢にあこがれを持ってほしい**です。みなさんはこれからの2年間、目標に向かって努力を続けることでしょう。その頑張りを支えるのは、大学名ではなく**学ぶ姿勢**なのです。その学ぶ姿勢を、卒業していった先輩たちはみなさんに残していってくれました。裏面に**3年生の合格状況**を載せました。

## 受験生入門・学習時間を再考しよう

2年生になると、ステージはもう1段階上がります。授業も文系・理系に分かれてきますし、後半になると模試で理科・社会が加わり、文字通り、入試問題を模した内容の「模試」になってきます。すなわち、「こんな問題が入試で出るから、解けるように力をつけてください」と提示されるのです。1年生のあいだは、全員に同じ課題が与えられていましたし、各自の自宅学習の内容も同じでした。2年生も途中までは同じスタンスでひっぱりますが、徐々に変わってきます。それぞれが進路を意識した学習を始めれば、重視しなければならない教科や単元も個々によって違ってきます。これがいわゆる「**受験勉強**」というものです。

例えていえば、A君は「長文をどんどん読まなければならない」し、B君は「単語力をつける必要がある」し、C君は「中学校の文法から総復習する必要がある」など、10人いれば10人もやるべきことが違います。そしてこの受験勉強は「明日の小テストにすぐ役立つ」ということはありません。でも文法の総復習をすると決めたら毎日、文法の問題集を1ページずつやっていくのです。そうしないと、苦手分野の克服ができないからです。この地道な勉強にどう取り組むのかを考え、毎日の学習計画に組み込むのが2年生の目標となります。

その際、重要になってくるのが「**学習時間**」です。部活動と両立させて頑張っている人、通学に時間がかかる人、いろいろだとは思いますが、右の表を見てください。昨今の進研スタディサポートのデータから、2年生春に成績がよかった人（成績◎：学習到達ゾーンS）、あまりよくなかった人（成績▲：学習到達ゾーンD）の学習時間をまとめました。表を見ると、**成績がよかった人の5割以上は、平日には2時間以上、休日には3時間以上の学習をしている**ことがわかります。反対に成績のよくなかった人の約6割

は平日にほとんど家庭学習をしていません。2年生になると、学習内容もレベルアップするので、やはり毎日確実に学習時間を確保することが大切です。そして学習時間以外に、学習の内容についても注意する必要があります。家庭学習の内容について尋ねたデータによれば、**成績がよかった人では、「予習→授業→復習」の学習サイクルを守っている人の割合が多くなっています**。一方、

成績があまりよくなかった人では、「宿題と試験前の学習のみ」、「試験前の学習のみ」、「自宅では何もしない」という回答が目立ちます。当たり前前と言えそうですが、予習・復習を徹底し、授業を大切に学習を進めていくことを改めて基本にしてほしいと思います。

学習時間	平日		休日	
	成績◎	成績▲	成績◎	成績▲
ほとんどしない	7.9	59.1	4.9	48.0
30分	8.1	16.6	3.0	15.2
1時間	17.0	13.1	8.2	16.0
1時間30分	14.6	4.8	5.9	6.3
2時間	28.5	4.0	17.4	8.5
3時間	19.1	1.0	23.5	3.6
4時間以上	4.7	0.7	37.0	2.0

最後にベネッセの「**きみは受験生になれているか？**チェックシート」をみてください。特別な参考書や問題集をやっているかということはチェックポイントには入っておらず、ごくありふれた10項目が聞かれているということは、このような当たり前前をやるのが「**受験勉強**」であり、それが当たり前前にできたらもう「**受験生**」なのです。

「きみは受験生になれているか？」チェックシート	
チェック	チェック項目
<input type="checkbox"/>	学習計画表を作り、実行できている
<input type="checkbox"/>	授業の予習・復習を毎日している
<input type="checkbox"/>	計画が守れなかったときは、原因を考え、計画の見直しなどの対策を講じている
<input type="checkbox"/>	模試の日程を意識して学習をしている
<input type="checkbox"/>	教科・科目ごとの自分なりの学習方法が確立されている
<input type="checkbox"/>	家庭学習のスタート時間は毎日決まっている
<input type="checkbox"/>	家では決まった時間に勉強を始めている
<input type="checkbox"/>	決まった時間に起床・就寝している
<input type="checkbox"/>	勉強についてクラスメイトとお互いに励まし合っている
<input type="checkbox"/>	志望大・学部・学科が決まっている
<input type="checkbox"/>	平日180分・休日360分以上の家庭学習時間が確保できている

## 春休みに向けてのメッセージ

## 1. 今までの進路学習を振り返ってもう一歩深めよう

今まで文理選択、仕事調べ、学部調べといろいろ調べる進路学習をしてきましたが、2年生では、もっと具体的にどういう大学・学部・学科でどんなことを学びたいか、将来はどんな仕事をしたいかがいえるように、進路学習を継続します。ですからこの期間に、もう一度自分の将来のことを考えたり、自分と向き合ったりして、どんなことがしたいのか、自分が何に興味を持っているのか、そういったことを紙に書き出したり、ネットの検索ソフトで職業を色々調べて、自分に合った職業をみたり、そこからその職業がどんなものなのかを調べたりするのがいいでしょう。

## 2. 新聞を読んだりニュースを見たりしよう

面接試験では、志望理由も大事ですが、世の中で起こっているどんな出来事に関心や自分の意見を持っているかがよく聞かれています。自分の志望学部にあわせて、「アフターコロナの社会はどうあるべきか」「空き家問題を解決するにはどんな方法が考えられるか」「ドローンのさらなる活用を考えてみてください」などです。それらは新聞記事になったり、TVの特集番組になったりしています。そういった知識が入れば、自分の志望理由もさらに膨らみます。とりあえず、これというものに出会うたびに、要約して自分の感想や考えを書いて記録しておけばいいでしょう。

(裏面につづく)

(表面のつづき)

### 3. 自主活動における主人公の年、いろいろな場面で自分を磨こう

学校行事や部活動、自主活動ではみなさんのエネルギーを感じました。このエネルギーは財産となります。1年生のあいだは体育祭においても上級生主導で楽しみましたし、生徒会も上の学年の人がいろいろひっぱりつけてくれました。でも来年は新2年生が主役になります。それぞれのクラスで、**今年得たことを活かして、いろいろな人がさらなるリーダーシップをとってほしい**し、部活動においても、新2年生がキャプテンを出してチームをまとめていかなければならない時期がもうそこまできています。文化祭も一番難しい「演劇」に取り組みますし、後輩たちも入学してきます。生活面でも手本になれるように、また全体のことをみて行動できるように、いろいろな場面で自分を磨いてほしいです。そして自分の磨き方としてもう一つ、「**健康は宝**」です。**心身とも良い状態で物事に取り組みましょう**。そのためには休まなくていい状態に自分を保つことです。

1日休んだら、ノートを書させてもらったとしても理解が難しいし、体調不良で無理して授業を受けていても、計算ミスが多かったり、大事なところが聞けなかったりします。「健康管理は一番の受験勉強」です。

戸田進路指導部長より特別寄稿

## どれだけ勉強すれば合格しますか？

高校での1年間が終わりました。振り返ってみると、意外なほど早かったのではないのでしょうか？2年後にはすでに高校を卒業して1か月後という状態ですから、高校生活の3分の1が終わった、のではなく、ほぼ半分まで進んできたのです。

ベネッセの模試分析データによると、3年間での成績が一番上下しやすいのが高校1年生の終わりです。この時点で成績が上向いた人はそのまま向上していきますし、成績を落とした人は成績がさらに下降していく傾向がみられます。どの教科についても、高校1年生で学ぶ基礎部分がいかに大切かということがよくわかります。

高校2年生は高校生活の中心となる学年です。学習もさらに本格化し、理科や地歴公民の比重が増えてきます。そのため、高校2年生の夏までには国数英で一定の学力が身につけていないと、復習する時間もなく、成績が伸び悩むことになります。

進路についても本格的に考え出す時期となり、多くの生徒が気にするのが、「志望校に合格するには、いつから、どれくらい努力すればいいの？」ということです。担任をしていたときにも、よく質問されました。しかし、残念ながら、この手の質問をしてきた生徒で、めでたく志望校に合格した生徒は皆無です。なぜでしょうか？

それは、「大学受験において必死に努力することは前提である」ということを理解できていないからです。大学受験という、人生を大きく左右する可能性の高い問題について、できるかぎりの努力をすることは当たり前です。合格を目指して努力してきた人のなかから、合格と不合格が出るのが受験ですから、どれだけ努力しても不合格になることは普通のことです。どのように努力するか？ということが重要なのです。

最近かなり気になるのが、「志望校に合格する最低限の努力をしたい／最低限のコストで合格したい」と考える生徒が増えてきていることです。「どれくらい努力すればいいか？」という質問の背後には、「できるかぎり努力したくない」という意識が見え隠れしています。繰り返しになりますが、必死に努力することは前提条件なので、こうした考えの人は結局、学力が下がり、それに連れて志望校の難易度も下げていって、あまり成長しない人が多いようです。

志望校がどのような難易度であれ、努力すればするほど成長するし、その過程が大切なのです。そして勉強の一番良いところは、人間関係と異なり、努力と成果は概ね正比例するということです。高校2年生は、学習においても部活動等においても高校生活の中核ですから、できるかぎり努力して、成長して、伸びゆく自分を楽しめる毎日にしてください。

令和5年度3年生合格状況（3月14日付け）

国公立大学後期や私立大学の3月入試は、この集計以降に発表になります。全体の正確な数字は4月の進路ニュースまたは進路ガイダンスでお知らせします。

国公立4年制大学		私立4年制大学		専修・各種学校		大学校	
京都大	12	立命館大	100	京都第一赤看専	1	防衛医科大学	2
京都工芸繊維	11	龍谷大	53	ビジュアルアーツ専門	1		
京都府立大	9	京都産業大	47	関西医科専門	1	大学校計	2
大阪大	5	同志社大	37				
滋賀県立大	5	同志社女子大	23				
京都府立医大	5	関西大	20				
滋賀大	4	関西学院大	19				
大阪公立大	4	摂南大	18				
東京大	3	佛教大	16				
滋賀医大	3	近畿大	14				
京都教育大	3	大阪工大	11				
神戸大	3	京都橘大	8				
香川大	3	明治国際医療	4				
高知大	3	京都女子大	3				
信州大	2	京都芸術大	3				
静岡大	2	京都薬大	3				
岡山大	2	藍野大	3				
広島大	2	京都先端科学	2				
愛媛大	2	関西福祉科学	2				
高知工科大	2	武庫川女子大	2				
北海道大	1	奈良大	2				
東京海洋大	1	亜細亜大	1				
お茶の水女子	1	国士館大	1				
名古屋工大	1	順天堂大	1				
奈良女子大	1	専修大	1				
山口大	1	東京理大	1				
佐賀大	1	東洋大	1				
会津大	1	日本体育大	1				
福知山公立大	1	明治大	1				
和歌山県立医	1	早稲田大	1				
		愛知学院大	1				
		びわこ成蹊大	1				
		大谷大	1				
		花園大	1				
		京都医療科学	1				
		京都看護大	1				
		追手門学院大	1				
		大阪医薬大	1				
		大阪経大	1				
		大阪体育大	1				
		関西医大	1				
		大阪成蹊大	1				
		大手前大	1				

専修各種学校計 3

国公立4年制計 95

私立4年制計 412